

村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM



外国の方々に、日本文化を体験していただいた 2 / 3 “庄内発 につぼん発見塾”にて



特集 アマゾン民族館発! 総合学習レポート

ポア タルデ出羽庄内「ジェロニモ バスケスさん」 国際交流団体紹介 みかわ国際交流協会、庄内日韓親善協会

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 28

Quarterly



アマゾン民族館

開館時間 9:00 ~ 17:00

アマゾン民族館特別企画展示

『世界の民族衣装展』

3月9日 10:00よりオープン!



総合学習レポート

「子ども達の明るい笑顔が
支えてくれています」

今年度もたくさんの方々にお会いすることができました。その中でも、子ども達のまっすぐな目と明るい笑顔が、特に印象に残っています。見学に来てくれたみんな、アマゾン民族館のことを思い出していただけているかな？

来年度から『総合的学習』への取り組みが本格的になるよう



明德幼稚園のよい子のみんな。

ですが、国語・社会・音楽などの教科にとらわれることなく、子ども達自身が課題を見つけ、学び、考え、解決していく。アマゾン民族館では、そんな子ども達のサポートを続けていきたいと考えています。



朝陽第二小学校2年2組の子ども達

実際に、ここアマゾン民族館に数々の問い合わせや見学学習手紙やメールで質問が届いたり、子ども達も積極的に勉強しているようです。庄内にあるアマゾンに旅してきた子ども達は、まるでちびっこ探検隊！あちこち走りまわって、あれこれ発見するのです。「せんせい、せんせい！」絶叫に近い声で呼んで、なにやら熱く語りはじめる子ども達もいます。『総合学習』というと難しい感じもしますが、様々な体験の中から記憶に残る『忘れられないなにか』を、ここで見つけてほしいと思います。

オカリナに絵を描こうよ！ 10.11.12月



になって作った「マイ・オカリナ」は、家庭でどんな音色を奏でているのだろうか。子どもたちの想像力・創造力は膨らむばかりだった。



オカリナとは土・陶器製の笛のこと。起源は紀元前にまでさかのぼるが、今日では国によって様々な特徴をもつものが作られている。もちろん南米アマゾンでもしかり。

そこでアマゾン民族館では、小中学生の民族館無料開放日に合わせ、素焼きのオカリナにオリジナルの絵付けをする体験教室「オカリナに絵を描こうよ！」を開いた。十月から十二月までの計三回、延べ八十名以上の親子が参加したこの教室。世界のオカリナが展示された会場で、子どもも大人も夢中

アマゾン子どもフェスティバル 「山であそぼう！」 7月



大自然の中で大声をはりあげて走り回ったり自分よりずっと小さなトンボに振り回されたり、お腹の赤いイモリに奇声をあげて、「これはソルソルしたワニだ！」とか言い出したり。とにかく子ども達の発想や言動には、爆笑したり、感心させられたりで、いつの間にか大人も子どもに帰る。

かを感じとつたらしい。でも、数秒後には、相変わらずの元気っ子に戻ってハシヤギまわっていた。



モリアオガエルの卵

ブナの原生林に囲まれた中台地は、まさに楽園。木の根が張った大地にゴロンと寝ころぶと、木々の切れ間から、わずかに空が見える。遠い空だ。この時、ちよっぴり子ども達が静かになった。なに

特集

アマゾン民族館発!



知的好奇心膨らむ
もうひとつの遊び場

ここアマゾン民族館ではまさに「遊びながら学ぶ」がキーワード。知的好奇心膨らむもうひとつの遊び場をめざしています。アマゾン民族館オリジナルぬり絵、クイズラリー、世界の楽器などなど、いつでも楽しめることができます。こども達の小さな体を全部使って、「みて、さわって、感じて」、好奇心をどんどん伸ばしてほしいと願っています。



世界の楽器にふれてみよう

タッチパネルでアマゾンの不思議をお勉強



アマゾン先生に質問ポスト、はがきでお答えいたします。

夢色ヒラルク制作中!



新年度からの完全週休2日制にとめない、総合学習なども踏まえてさまざまなお取り組みをしていく予定です。質問やアドバイスが必要な場合は、お気軽にお問い合わせください。



世界には、気候、風土、歴史、文化、宗教等の違いによって様々な衣服の形があり、素材も異なっています。衣服の機能としては寒さや暑さから身を守るため、自分を美しく見せるため、または社会の中で身分や職業をはっきりさせるため等いろいろあげられます。次回のアマゾン民族館特別企画展示『世界の民族衣装展』では、

アマゾン民族館特別企画展 世界の民族衣装展 3月9日(土)オープン!

の民族衣装展』では、山口館長自らが収集した民族衣装の中から主だったものを選び、大陸別に解りやすく展示します。衣装を通して異文化理解・国際理解を深めるため、実際に衣装に触れたり試着できるコーナーも設ける予定です。ぜひ一度遊びにきてください。





9 / 28 ジャズ&食の夕べ

2001

国際村の1年

2001年：国際村で行われたイベントなどを写真で紹介します。



11 / 10 - 11 いんぐりっしゅキャンプIN三瀬



11 / 18 出羽庄内国際村音楽祭



6 / 10 ワールドバザール



12 / 23 ワールドファミリークリスマス



8 / 1 - 5 サマーフェスティバル



7 / 25 アマゾン子どもフェスティバル「山であそぼう」
12 / 8 鷹匠「松原英俊」さんを迎えるの講演会



5 / 5 アマゾン子どもフェスティバル
10 / 13 ~ オカリナに絵をかこうよ



外国人への日本の家庭料理講習会「器の会」



世界の料理講習会「ワールドクッキング」



フレンドシップサロン（毎月第1金曜日）



日本語教室（毎週日・火曜日）

庄内在住の外国人の方を紹介します



こんにちは、ジェロニモ バスケットです。ブラジルのリオデジャネイロから来ました。大学で体育、特にサッカー指導を学び、ブラジルのプロチームなどでフィジカルコーチをしていました。九十六年夏、日本で仕事をしないかという誘いを受け、山形県にスポーツ国際交流員として赴任。県内様々な所でサッカーを教え、またモンテデイオ山形のフィジカルコーチもしていました。その後いったん

ジェロニモ・バスケットさん 羽黒高等学校 英語科 体育科教師 サッカー部コーチ

ブラジルに帰国しましたが、間もなく羽黒高校から誘いがあり、現在は英語、体育の教師とサッカー部のコーチをしています。これまで、とてもいいタイミングで山形に来ています。故郷のリオデジャネイロは、場所によってはすくなく賑やかなのですが、山形はとても静かで落ち着いた気持ちになれます。私にとっては第二のふるさとですね。今、羽黒高校のサ

ツカーチームで全国を目指し、J1やJ2に入るような優秀な選手を育てようと頑張っています。将来の夢は、J1やJ2のフィジカルコーチになること、またもつと先にはブラジル代表チームのフィジカルコーチになりたいと思っています！



国際村でポルトガル語を教えるジェロニモさん

在住外国人のための日本料理講座 器の会

基本的な日本料理をベースに、四季折々の料理、庄内地方の郷土料理を紹介する器の会が、十二月二日に行われ、中国・韓国・エジプトの計五名が挑戦しました。今回は、庄内地方独特の郷土料理「大黒様のお歳夜」のメニューでした。豆ご飯、ハタハタの田楽、焼き豆腐の田楽、茶碗蒸し、納豆汁、黒豆なますの六品を作りました。この習い事は大黒様の年越しの夜で、庄内では大黒様が働くことが好きだと言いつい伝えから「ママに働らせるように」と豆づくしの料理を食べる風習があります。



悪戦苦闘しながら納豆をすりつぶす参加者

ボランティアスタッフ募集

出羽庄内国際村では、年間を通して様々なイベントや国際交流関連の行事を行っておりま。その際、様々な形でお手伝いしていただけるボランティアスタッフの存在は欠かせません。ホームステイ受け入れや通訳(どんな言語でも)、や国際村イベントのスタッフ、その他いろいろのことをやってみたいなど、気軽に参加してみませんか？詳しくは国際村まで。

いつも空高く目標を持って あきらめるな決して！ 進んで行動しよう

まず最初に人のため

ワールドクッキング

こだわってます!
ボランティアスタッフより愛をこめて



上の写真は、クッキングに参加されているお母さんを待つて遊んでいた男の子。会食後、感想を聞かせてもらっているんですが、マイクを両手に抱えてひとこと「ああ〜」さて、この後に続く言葉はいったいなんだったのだろうか？いまだに謎だ…。

さて、今回はワールドクッキングのボランティアスタッフを代表して、ひとこと頂戴いたしました。

おかあさん、かんぱつてね。ほくたしいこにしているよ。

『切る』『こーとつとつても』『ピーマンの回し切り』『あり』『手の上でみじん切り』『皮をむかない大根の斜め切り』ありと、世界の料理体験はまさに異文化との出会いでした。

振り返れば四年前に「世界中の料理が食べたい！」からスタートしたワールドクッキングの中で、私達は十三の国々と会うことができました。

料理自慢の方ではなく、庄内に住んでいる方々から、自分の家庭で作って食べる料理とその思い出を紹介してもらおう。そのこだわりは『ネイティブ』。

料理よりも交流をメインに、会話しながら違いや分量をチェックしながら料理を楽しむ。



このこだわりは、ゴルフ観戦のギヤラリーにヒントを得た『ギヤラリー方式』。そして、お国の情報も紹介する、かわいい『レシビ』。料理のフオローをする『ボランティアスタッフ』。

誰でも参加できる。そのこだわりは、小さい子ども達が遊べるスペース『保育室』。全員が一言ずつ参加する『会食時の感想発表』。みんなの感想とありがとつのが持ちが行き交う会食の時間。それは、老若男女・国籍・職業・性別の垣根が消える瞬間。

この四年間におよそ五百人のみなさんと一緒に十人のスタッフで作ってきました。次回のロシア編で会いましょう！

フレンドシップサロン

毎月第一金曜日に、テーマを設けゲストと共にお茶を飲みながら気楽に学べる交流の場です。

12月2001年
ヨーロッパ
自転車放浪記

小林 文一さん



小林さんは、現在東北公益文科大学一年生。以前陸上自衛隊レンジャー部隊に所属していたそう、小柄ながら姿勢のいいスリッ姿は見るからに旅に必要ならサバイバル技術、体力は十分備わっている様子。

海外旅行（チュリップ畑の映像）。現にヨーロッパ自転車旅行で真っ先に目指した所がオランダのチュリップ畑だったとか。素朴な憧れを自分の目で見て確かめ、知らない世界を学ぶことは純粹に楽しいこと。旅をして自分の歴史を自らの体に残したいと言っていた小林さんはまさに好奇心の塊のような人でした。

1月2002年
カンボジア

ヘン ソチェットさん



鶴岡工業高等専門学校の留学生、ヘン・ソチェットさんをお迎えし、ソチェットさんの国、カンボジアについて話を聞いてください。

カンボジアと言つと、最近までは一九三三年以前の内戦などの物騒なイメージが強かったが、今では世界遺産であるアンコールワットと共にその印象は変わり、成長を続けている。

ソチェットさん！

んは電気工学を専攻し、将来日本のような電気システムを母国カンボジアにも普及させることが夢。また急激な成長で国土の七割を占めている豊かな自然が四割まで減少している現状を心配し、ソーラーエネルギーの可能性にも興味を示している。

現在、奨学生として大学入学を目指し勉強中。がんばれソチェットさん！

国際交流団体紹介

～ 庄内に広がる国際交流 ～

庄内日韓親善協会

日韓庄内

人類愛に報いるために

会員数：現在61名
 定例会：年2回、毎月例役員会
 会費：個人年8,000円、法人年10,000円
 連絡先：“庄内日韓親善協会”
 山崎 真宏さん
 (☎0235 24 2480)まで

創設者・故加藤豊氏は、県立鶴岡家政高校長を辞して日韓親善を説き、58歳の時に協会を設立、実践活動に入りました。終戦直前、当時15歳だった加藤氏は、2人の妹の手を引き、平壤から釜山までを逃げのび得たといひます。その時に受けた朝鮮人の人類愛に報いたいとの思いから、そのためには親善友好しかないと考えました。歴史教科書問題で停滞した日韓親善活動ですが、いにしえの子孫関係にゆかりを感じるという天皇のお言葉があったこともあり、親善は大前進といえます。W杯サッカーのオープン控えて親近感が増すばかりですが、ここ庄内で、一人でも多くの市民に「どうしたら日韓親善に寄与できるのか」を顕証したいと思ひます。IT関連では韓国がリード。長寿でも日本と並び世界の上位に名を連ねる韓国。ナンバーONEであり続けることによりゆとりを持つことホントの豊かさはそこにあり、ホームステイを体験することで納得できることは確かです。

第5回ワールドバザールにて



みかわ国際交流協会

地域づくりの新しい一面を開いていきたい

会員数：現在個人132名、企業27社
 定例会：必要に応じて
 会費：個人年1,000円、企業年5,000円
 連絡先：“みかわ国際交流協会”
 会長 須藤 栄弘さん
 (☎0235 66 3084)まで

みかわ国際交流協会は、平成12年10月の町の合併45周年記念事業「町民の翼」で友好盟約都市アメリカ合衆国テネシー州マクミンビル市訪問の際、マクミンビル市民との交流の感激を地域でも役立てたいとの声があがり、「町民の翼」の参加者を中心に昨年5月26日に設立しました。

昨年夏に来町したマクミンビル市にあるウォーレン郡中学生と三川中学生との交流事業のサポートや協会主催の「歓迎野外パーティー」の企画などは、会員や地域住民の交流の場づくりになったのではと思ひます。また、みかわ夏まつりでの韓国やブラジル料理の売店は好評で、協会のPRになりました。会員手づくりの会報発行などの活動も行っています。

今後も多くの方々に積極的に参加してもらい、楽しみながら活動の輪を広げ、そしてできれば地域づくりの新しい一面を開いていきたいと考えています。

ウォーレン郡中学生来町時「歓迎野外パーティー」



あしがき

昨年の出羽庄内国際村では、ボランティアの方々による実行委員会主催のイベントが多く開催されました。各方面で活躍されている方々が国際村に集まり、自分の趣味を含め、興味の有る事や得意な分野を生かし、計画・立案・実行・後始末まで全面的に協力しあつて行なうイベントの素晴らしさに感動いたしました。出羽庄内国際村では、こういった活動に同じ立場で参加し、場所の提供や事務的支援、出来る限りの資金援助も行なつて行きます。在住外国人と地域住民との融和を図りながら、みんなが住み良い地域作りやボランティア活動がしやすい環境作りを心掛けてまいりたいと思ひます。お気軽にご利用くださいませ。

あなたも賛助会員に!

財団の活動主旨に賛同され、事業運営にご支援いただける会員を募集しています。

年会費：一般	3,000円
高校、大学生	2,000円
小、中学生	1,000円
法人1口	10,000円 <small>(何口でも結構です)</small>

期間：平成14年4月1日から平成15年3月31日まで

会員の方には、財団機関誌等の送付、アマゾン民族館の無料入館、語学講座受講料の割引などの特典もあります。